

図書館だより（千葉点字図書館）

2025年(令和7年)10月号(通巻第471号)

編集・発行 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会
視覚障害者総合支援センターちば

千葉点字図書館

〒284 - 0005 千葉県四街道市四街道1丁目9番3号

電話：043-424-2588

E-Mail(貸出)：kasidasi@tisikyo.jp

目次

1. お知らせ

- ・センター休館日
- ・用具部からのお知らせ
- ・第5回点字考案200年記念事業「記念講演会&シンポジウム」開催のお知らせ
- ・SDカードダウンロードサービスのご案内
- ・購入雑誌のご案内
- ・自館製作雑誌のご案内
- ・他館製作雑誌貸出のご案内
- ・寄贈資料のご案内

2. 新入図書を紹介

3. おすすめ図書を紹介

4. 墨字図書出版情報(朝日新聞 2025.8.11)

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

5. ニュース・新聞記事から

- ・突然失った視力 見えた世界(朝日新聞 2025.8.31)
- ・JR千葉駅にホームドア(千葉日報 2025.4.10)
- ・「みえない」踏切 遠い安全(朝日新聞 2025.4.18)
- ・障害年金、不支給3万人(千葉日報 2025.4.29)

*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

1. お知らせ

センター休館日

10月の休館日は次のとおりです。

- 3日（金） 図書整理日（貸出の対応を終日休止）
- 17日（金） 職員会議のため13時30分以降休館

用具部からのお知らせ

【レッツトライ！みんなで楽しむブラインドメイク（第1期生）参加者募集】

お待たせしました！

いよいよ千視協で「ブラインドメイク」を体験できるグループ活動が始まります。

「ブラインドメイク」とは、鏡を使わずに自分でフルメイクができる技術のこと。視覚に障害のある方が、仲間と一緒に楽しみながら基本から取り組める内容です。

◆ 開催概要

- ・ 期間：2025年11月スタート
- ・ 日時：原則 第3土曜日 13:00～（1回90分程度）
- ・ 回数：全6回（通し参加が条件です）
- ・ 定員：6名
- ・ 参加費：無料
- ・ 会場：視覚障害者総合支援センターちば

◆ 内容（予定）

- ・ スキンケア・ベースメイク
- ・ リップ・チーク
- ・ アイシャドウ
- ・ アイブロウ
- ・ まとめと仕上げ
- ・ フルメイクにチャレンジ！

回を重ねるごとに少しずつできることが増え、最終回では、ひとりでフルメイクにチャレンジすることで達成感も味わえます。みんなで楽しく取り組みながら、自分らしいメイクを身につけていきましょう。

◆ 使用する化粧品について

- ・ 基本的には手持ちのメイク道具を使用します。
- ・ 古すぎる、量が足りないなどの場合は、化粧訓練士より買い替えのアドバイスがあります。
- ・ コーサーコスメポート様のご協賛により、必要なコスメの一部をご提供いただきます。

◆ 個人レッスンについて

今回の活動では、基本的な流れを仲間と一緒に学び、楽しみながら体験することを目的としています。

さらに一歩進んだ内容や、個別のお悩みに合わせたメイクのご相談を希望される場合は、個人レッスンのできる化粧訓練士におつなぎします。

- ・ 個人レッスン料：1時間5,000円 + 会場費等の諸経費

◆ 応募方法

- ・ 募集期間：2025年10月1日（水）～10月10日（金）
- ・ 用具部 電話・メール・LINE にて受付します。
- ・ お名前・連絡先をお知らせください。

※連絡先は活動に関するご案内をいたします。必ず連絡が取れるものをお願いします。

- ・ 応募多数の場合は抽選となります。

◆ 抽選結果について

10月20日（月）までに応募時に指定された方法で結果をご連絡します。

◆ 応募条件

- ・ 6回すべてに出席できる方（やむを得ない体調不良などは除く）
- ・ 参加決定者は千視協会員であること
- ※応募時点で非会員でも構いませんが、参加が決まった方は入会をお願いします。

◆ 注意事項について

- ・ 会場スペースに限りがあるため、付添いの方の入室はできません。待機場所もご用意がありませんのでご了承ください。
- ・ メイクの実習を行いますので、肘までまくれる服装でのご参加をお願いいたします。
- ・ 化粧品アレルギーなど個別の制限がある場合や、細かな対応をご希望の方は、別途「個人レッスン」の利用をおすすめいたします。

【価格改定のお知らせ】

このたび、2025年11月1日（土曜日）より、下記商品のメーカー仕入れ値変更に伴い、価格を改定させていただきます。

点字用紙 70K（100枚）230円 → 改定価格 250円

点字用紙 90K（100枚）280円 → 改定価格 300円

点字用紙 110K（100枚）310円 → 改定価格 350円

みなさまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

第5回点字考案200年記念事業「記念講演会&シンポジウム」開催のお知らせ

今年は、フランス人レイ・ブライユが6点点字を考案してから200年という節目の年にあたります。さらに、日本においては、1925年に普通選挙法で「政令で定めた点字は文字としてみなす」として、点字による投票が実現してから100年になります。

この機会に、点字を文字として位置付ける法整備の実現に向けて、記念講演会とシンポジウムを、ハイブリッド方式で開催します。

【日時】2025年11月1日（土）13時～16時30分

【参加費】無料

【記念講演】 テーマ 「点字の市民権拡大における課題」

講師 ^{しん} 慎 ^{よんほん} 英弘 氏（四天王寺大学名誉教授）

【シンポジウム】 テーマ 「現代における点字の意義と近未来の展望」

コーディネーター ^{あおき} 青木 ^{りゅういち} 隆一 氏（淑徳大学総合福祉学部教育福祉学科教授）

シンポジスト 慎 英弘氏

^{そうた} 山岸 蒼太氏（毎日新聞社点字毎日部記者）

^{ゆうか} 鈴木 祐花氏（日本視覚障害者団体連合青年協議会長）

^{わたなべ} 渡辺 ^{しょういち} 昭一氏（日本点字委員会会長）

【ハイブリッド開催】

(1) 会場

会場：日本視覚障害者センター研修室（東京都新宿区西早稲田2-18-2）

定員：60名（先着順。定員には付き添い者も含む）

(2) オンライン

方法：ZOOM 定員：100名 参加者には後日 ZOOM URL をお送りします

<参加申し込み方法>

・必要事項を記入の上、下記お申し込み先へ、原則、メールでお申し込みください。

なお、郵送、FAXでもお受けいたします。

・必要事項 件名に「記念講演会参加申し込み」と明記の上、

「① 会場かオンラインか ② 氏名 ③ 所属機関 ④ 電話番号 ⑤ メールアドレス ⑥ 付添者の有無」をお知らせください。

・申し込み締め切り 2025年10月15日（水）

<お申し込み、お問い合わせ先>

点字考案200年記念事業推進委員会事務局

〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2 日本視覚障害者センター内

メール tenjikouan200@jfb.jp

FAX 03-3200-7755

電話 03-3200-0011（ダイヤルイン9、平日9:00～17:00）

【主催】 点字考案200年記念事業推進委員会

【後援】 全国盲学校長会、特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会、毎日新聞社点字毎日

SDカードダウンロードサービスのご案内

当センターでは、SD カードにお好きな音声デジータデータをダウンロードするサービスを行っています。ご希望の方は、当館宛にSD カードを郵送し、メールまたは電話にてご希望の図書をご連絡ください。SD カードの容量とは関係なく1枚につき5タイトルまでのダウンロードとなりますのでご了承ください。

●**利用対象**：SDカードで再生する機器、またはパソコンをお持ちの方。

●**貸出方法**：SD カードダウンロードサービスをご希望の方は、来館・電話・メール・手紙のいずれかでお申込みください。

●**連絡先**：電話 043-424-2588 メール kasidasi@tisikyo.jp

何かご不明な点がありましたら、貸出担当までお問い合わせください。

購入雑誌のご案内

現在当館では、次の点字、デジータ雑誌を購入しています。

点字

- ・鍼灸の世界 年12回発行 東洋医学、西洋医学、ニューメディアなどに関連する記事を掲載。
- ・旅 年6回発行 京都ライトハウス製作の旅の魅力を伝える情報やエッセイを掲載。
- ・テルミ 年6回発行 視覚に障害のある子どもたちを対象にした学習絵本。墨字併記。
- ・点字ジャーナル 年12回発行 理療や福祉の情報の他、スポーツ、旅、グルメ等趣味の話題も掲載。

デジータ

- ・視覚障害 年12回発行 視覚障害に関するテーマ全般。当事者等による特集記事、対談等を掲載。
- ・点字毎日 年25回発行 視覚障がいに関するニュースを取り扱っている。
- ・ライト&ライフ 年12回発行 身近な生活情報を提供。

自館製作雑誌のご案内

当館では、月刊で発行されている「ナショナルジオグラフィック日本版」を点字で、隔月刊で発行されている「小説宝石」を音声デジータで製作しています。

「ナショナルジオグラフィック日本版」は貸出、「小説宝石」は貸出ではなく差し上げています。

他館製作雑誌貸出のご案内

現在貸出している雑誌（音声デジータ）

週刊：アエラ、サンデー毎日、週刊現代、週刊新潮、週刊文春、週刊ポスト、女性自身、ニューズウィーク、フライデー

隔週刊：オレンジページ

月刊：アイサポートニュース、朝日新聞医学情報、朝日新聞天声人語、栄養と料理、NHK きょうの健康、NHK きょうの料理、NHK 俳句、オール読物、音楽の友、月刊ジャイアンツ、月刊情報誌「読書」、声の食生活情報、さかえ、趣味の園芸、小説新潮、小説すばる、ステレオ、世界、全国点字図書館新刊デジータ図書目録、選択、ダンスビュウ、鉄道ピクトリアル、鉄道ファン、東洋経済、トランヴェール、日経サイエンス、日経マネー、ニュートン、ハルメク、PHP、婦人公論、ベースボールマガジン、旅行読売、歴史街道

隔月刊：暮らしの手帖、厚生、フクミミ、理療

寄贈資料のご案内

●次の資料が寄贈されました。

- ・ 国税庁広報広聴室 発行 『私たちの税金（令和7年度版）』 点字1冊、デジジー1枚
- ・ 全日本鍼灸マッサージ師会 発行 『東洋療法（368号）』 点字1冊
- ・ 日本視覚障害者団体連合 発行 『点字日本（645号）』 1冊
- ・ 日本点字図書館 発行 『にっぽんデジジーマガジン（9月号）』 デジジー1枚

収録内容：ブックウェーブ（視覚障害者や本に関する話題）、文藝春秋、ホームライフ（料理・育児・新製品などの実用記事や、暮らしの情報・話題）、医学研究（健康に役立つ情報、三療に関する記事および大学病院等所属の講師陣による臨床講座を掲載）他。

●次の資料は差し上げます。ただし部数に限りがあります。

- ・ 政府広報発行
『明日への声（105号）』 CD1枚
『点字・大活字広報誌 ふれあいらしんばん（105号）』 1冊
- ・ 日本視覚障害者団体連合 監修 『点字版 ガスを安全にお使いいただくために』 1冊

雑誌についてのお問い合わせや貸出を希望される方は貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

2. 新入図書を紹介

[番号、書名、著者名、冊数、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

（点字図書）

<一般書>

- ① 明治維新という時代——不羈独立の精神はどこへ消えたのか（深草 徹 著）6冊 花伝社
2024年5月

[独立した精神で時代を切り拓いた「明治維新」、その輝きと衰退を西郷隆盛論から草創期帝国軍隊史、憲政史等から眺望。「日本という国」を奮い起こした「不羈独立の精神」は、なぜ帝国主義・植民地主義・絶対的天皇国家へと凋落していったのか。混迷する近代日本のその起源を辿る。過去との対話から未来を思考する批判的歴史評論集]

- ② 社会福祉施設等調査の概況 令和4年（厚生労働省政策統括官付参事官付社会統計室 編）2冊
厚生労働省政策統括官付参事官付社会統計室 2023年12月

[全国の社会福祉施設等を対象に、令和4年10月1日現在で実施した調査の結果の概要をまとめる。]

- ③ 渋沢栄一に学ぶ福祉の未来（杉山 博昭 著）3冊 青月社 2019年12月

[日本資本主義の父は、福祉の先駆者でもあった。日本の福祉の基礎を築くのに貢献した渋沢栄一の史実を紹介し、彼の姿から何を学ぶべきかを考える。]

- ④ 地域保健・健康増進事業報告の概況 令和4年度
 (厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室 編) 2冊
 厚生労働省政策統括官付参事官付行政報告統計室 2024年3月
 [令和4年度に全国の保健所及び市区町村が実施した、地域の特性に応じた保健施策の報告。]
- ⑤ ^{きんてつひこ}金哲彦のマラソン練習法がわかる本——100日練習メニュー&詳細解説!! 完走サブ4サブ3
 (金 哲彦 著) 3冊 ^{にほん}実業之日本社 2015年9月
 [人気コーチ・金哲彦が、もっと楽に、ケガも少なく、速く走れるマラソン練習法を紹介。トレーニングの基礎知識、レベル別の100日トレーニングメニュー、駆け込み30日トレーニング、マラソンQ&Aなどを収録。]
- ⑥ 読めば分かるは当たり前?——読解力の認知心理学 (犬塚 美輪 著) 3冊 筑摩書房
 2025年1月
 [読める人の頭の中には読解力の地図がある。人間が「読んで理解する」とはどういうことかを、心理学の研究成果を通して解説し、どうすればよりよく読むことができるのかを考える。]
- ⑦ 出口式はじめての論理国語 小5レベル (出口 汪 著) 6冊 ^{すいおうしゃ}水王舎 2018年11月
 [偏差値40台が60台に! 論理的思考力と言葉の規則の習得で飛躍的に成績アップ。]
- ⑧ 出口式はじめての論理国語 小6レベル (出口 汪 著) 6冊 水王舎 2019年8月
 [出口式国語が究極の進化。5つの最強メソッド初公開! 2020年大学入試改革に対応!]

<文学書>

- ⑨ 脳科学捜査官真田夏希 24 ビター・シトラス (鳴神 響一 著) 3冊 KADOKAWA 2025年3月
 [神奈川県警の心理職特別捜査官・真田夏希は、安心してネットを使うための心がけについて、小学校で特別授業を行う。だが、拳銃を持った男女が侵入。生徒と教諭を人質に取った犯人たちは、驚くべき要求をしてきて…。]

(音声デイジー図書)

<一般書>

- ① 人生の壁 (養老 ^{ようろう} 孟司 ^{たけし} 著) (4:54) 新潮社 2024年11月

[努力と成果が結びつくと思いきまないといい。他人の顔色をうかがうのは不幸になる第一歩…。自身の幼年期から今日までを振り返りつつ、誰にとっても厄介な「人生の壁」を越える知恵を正面から語る。]

- ② 津田梅子——科学への道、大学の夢 (古川 ^{ふるかわ} 安 ^{やす} 著) (11:21) 東京大学出版会 2022年1月

[優れた生物学研究者だった津田梅子。一次史料にもとづいて、科学史の視点からこれまでの伝記とは異なる津田梅子像を描出し、梅子と科学の関わりを、当時の日本の科学・教育・社会の文脈から分析。その意味を考察する。]

- ③ 行動経済学の処方箋——働き方から日常生活の悩みまで (大竹 ^{ふみお} 文雄 ^お 著) (8:58) 中央公論新社 2022年11月

[日々の暮らしや仕事の課題、さらには大きな社会問題まで、その解決策は行動経済学にある。何気なく行ってしまう“非”合理的な選択に、最新の経済理論を駆使して処方箋を示す。]

- ④ 日本人が知らない韓国売春婦の真実 (中村 ^{あつひこ} 淳彦 ^{ひこ} 著) (6:13) 宝島社 2014年10月

[今、日本にきている韓国人売春婦は5万人。彼女たちは、どうして日本にやってくるのか？韓国の売春事情はどのような状態なのか？増殖する韓国系風俗店や、韓国人になりすます中国朝鮮族の実態などを明らかにする。]

- ⑤ 中野ブロードウェイ物語 (長谷川 ^{しょういち} 晶 ^い 著) (7:32) 亜紀書房 2022年5月

[屋上プール付き分譲マンションと「まんだらけ」などのサブカル店舗群が同居した異空間「中野ブロードウェイ」。中央線文化圏を先導し、今なおアメーバ的進化を続ける巨大建造物の全貌に、当地に暮らす著者が迫った異色ルポ。]

<文学書>

- ⑥ 見えなくても王手 (佐川 ^{さがわ} 光晴 ^{みつはる} 著) (6:02) 実業之日本社 2025年2月

[盲学校に通う小学4年生の及川 ^{おいかわ} 正彦は、新任の先生から将棋を教わり、その面白さにすっぴりのめりこむ。将棋を指す喜びを知り、それぞれに成長を遂げてゆく小学生たちとその家族、教員たちの群像劇。]

- ⑦ 燃えよ、あんず (藤谷 ^{ふじたに} 治 ^{おさむ} 著) (14:19) 小学館 2022年5月

[一癖も二癖もある面々が集う、下北沢の小さな書店。「ロリータ」愛読者、大麻合法を主張する男、そして本を買わずに店で油を売る久美ちゃん。そんな彼女に新婚間もなく不幸が訪れる。それから十数年が経過したある日…。]

⑧ 童話物語 下 (^{むこうやま}向山 ^{たかひこ}貴彦 著) (15:40) 幻冬舎 2001年7月

[妖精フィツとの別れから1年後。世界の終焉「妖精の日」が迫る中、世界の崩壊に立ち向かうペチカの最後の旅。]

⑨ 生命活動として極めて正常 (^{やしお}八潮 ^{ひさみち}久道 著) (5:04) KADOKAWA 2024年4月

[その会社では、社員の殺害が制度として組み込まれていて…。表題作のほか、「命はダイヤより重い」など全7編を収録。誰も考えなかった「i f」の世界を描く。]

⑩ 見えない世界で見えてきたこと (石井 健介 著) (3:57) 光文社 2025年5月

[見えていたころには見えなかった目には見えない大切なものが見えてきた。僕は生きることがずっと楽になった。36歳にして視力を失った著者による、小説のような自伝エッセイ。]

3. おすすめ図書の紹介

『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』 ^{かわうち}川内 ^{ありお}有緒 著 集英社 2021年

友人のマイティーに誘われて、著者は全盲の美術鑑賞者・白鳥さんと美術館めぐりへ。目が見えない白鳥さんが、どうやってアートを楽しむのか——最初はちょっと不思議に思いながら始まった体験は、会話を重ねるうちにどんどん新しい発見に変わっていきます。作品を言葉にして伝え合い、そこから広がる想像や笑い。読んでいると自分も一緒に展示室を歩いているような気分になります。2022年本屋大賞ノンフィクション本大賞を受賞し、映画にもなっている話題の一冊です。

(豊田)